

問1 九州地方の各県について述べた統計資料において、地熱発電量が「879」と他の県に比べて突出して高く、人口密度が約181.7人/km²である県に該当するものとして、最も適切なものを選択してください。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 大分県 2. 鹿児島県 3. 福岡県 4. 宮崎県

問2 ある都市の気候統計において、最暖月の平均気温が約30度、最寒月の平均気温が約5度で、1年間の降水量が2000mmを超えているというデータがあります。特に6月から7月にかけて月間降水量が400mmを上回る顕著なピークが見られるこの都市として、最も適当なものを選びなさい。（2017年 滋賀公立入試 類似）

1. 鹿児島市 2. 彦根市 3. 札幌市 4. 金沢市

問3 福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んでしたが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 東京都公立入試 類似）

1. 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。
2. 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。
3. 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。
4. 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。

問4 鹿児島県の農業の特色について、農業産出額の構成や主な生産物の背景を踏まえて述べた文として、最も適当なものはどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. シラス台地などの地形的条件もあり、豚や肉用牛、ブロイラーといった畜産の産出額が全体の約6割を占めている。
2. 広大な平地と冷涼な気候を活かした大規模農業が盛んで、乳牛などの酪農やてんさい、じゃがいもの生産が中心である。
3. 首都圏に近い立地を活かした近郊農業が発達しており、レタスやピーマンなどの野菜の生産額が畜産を大きく上回っている。
4. 温暖な気候を利用した稲の二期作が古くから行われており、農業産出額における米の割合が最も高い。

問5 日本の農業に関するある統計資料において、第1次産業に従事する人の割合が全国平均より高く、さらに食料自給率が190%という極めて高い数値を示している鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。
2. 四国地方に位置しており、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が産業の中心である。
3. 日本海側に位置しており、冬の積雪を活かした稲作が盛んで、銘柄米の生産に力を入れている。
4. 広大な土地と冷涼な気候を活かし、乳牛の飼育を中心とした酪農や、大規模な機械化による畑作が行われている。

問6 13世紀に起こった元寇において、朝鮮半島から九州の博多湾を目指した元軍が、九州へ上陸する前に経由・侵攻した、九州の北西に位置する島を選択してください。（2018年 三重公立入試 類似）

1. 対馬 2. 舌岐 3. 種子島 4. 淡路島

問7 鹿児島県などの南九州に広がるシラス台地では、一般的な地域の井戸が約6メートルから10メートル程度の深さであるのに対し、約64メートルもの深さがある「深井戸」が掘られてきました。このように極端に深い井戸が必要とされた理由として最も適切な説明はどれですか。（2024年 福井公立入試 類似）

1. 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため
2. 関東ローム層と呼ばれる粘土質の層が厚く、地表付近の水の浸透を妨げているため
3. 花こう岩の地層が地表近くまで迫っており、岩盤の隙間にあるわずかな水を確保するため
4. 台風による塩害を防ぐため、海水の混入しない深層の真水を確保する必要があるため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大分県	大分県は別府温泉や由布院温泉に代表されるように火山活動が活発な地域であり、その熱エネルギーを利用した地熱発電の発電量が国内で最も多いことが特徴です。統計資料に示された高い地熱発電量は、この地理的特性を反映しています。
問2	答え 1 鹿児島市	鹿児島市は低緯度に位置し、周辺を流れる暖流（黒潮）の影響を受けるため、滋賀県彦根市などのより北方に位置する都市と比べて冬の気温が下がりにくく、夏と冬の気温の差が小さくなる傾向があります。また、初夏の梅雨前線や秋の台風の影響を強く受ける地理的条件から、年間降水量は2000mmを超える温暖多雨な気候が特徴です。
問3	答え 1 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。	福岡県では、官営八幡製鉄所の操業以来、北九州市の沿岸部を中心に鉄鋼業などの重化学工業が発展してきました。しかし、1970年代の石油危機による不況を境に、産業構造の転換が進みました。広大な用地や労働力を求めて、内陸部や県東部に自動車工場が進出したことで、加工組立型の工業が成長し、県全体の産業を支える新たな柱となりました。
問4	答え 1 シラス台地などの地形的条件もあり、豚や肉用牛、ブロイラーといった畜産の産出額が全体の約6割を占めている。	鹿児島県は全国屈指の農業県ですが、その最大の特徴は畜産の圧倒的な比率にあります。約4109億円にのぼる産出額のうち60.9%を畜産が占めており、これはシラス台地という地理的条件を克服するために畜産や畑作に力を入れてきた歴史的背景に基づいています。他の選択肢にある酪農中心の形態は北海道、近郊農業は茨城県や千葉県、稲の二期作はかつての高知県などの特徴です。
問5	答え 1 シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。	鹿児島県は、その土地の多くが火山灰由来のシラス台地で占められているため、大規模な畜産施設を設けるのに適しており、豚や黒毛和牛の生産が非常に盛んです。また、畑作ではさつまいもの生産量が日本一であり、これらは加工品や飼料としても利用されています。食料自給率が100%を大きく超えているのは、県内で消費する量をはるかに上回る食料を生産し、全国各地へ供給している「日本の食料基地」としての側面を持っているためです。
問6	答え 1 対馬	この島は地理的に朝鮮半島と九州の間に位置しており、古くから大陸との交流の要所でした。鎌倉時代の元寇（文永の役・弘安の役）では、博多に押し寄せる元軍が最初に攻撃を仕掛けてきた場所として、歴史上重要な役割を果たしています。
問7	答え 1 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため	南九州に広がるシラス台地は、過去の火山活動による火砕流堆積物（シラス）で構成されています。この層は非常に厚く、かつ粒子が粗いため水はけが良すぎるという特徴があります。そのため、雨水はすぐに地下へ浸透してしまい、地表付近で水を得ることが困難です。生活用水を確保するためには、この厚いシラス層を貫き、地下水が蓄えられている「帯水層」に到達するまで深く掘り進める必要がありました。